

1 協議会の概要

・平成3年、道内への豚のオーエスキー病の侵入を防止するため、関係者で有効な方策の協議と対策を行うため設立

会員を含め関係者の努力で、これまで道内への侵入を防止

・令和3年に、オーエスキー病以外の豚熱ほか悪性伝染病の侵入防止対策や飼養衛生管理基準の啓発などを目的に加え、協議会名を「北海道オーエスキー病並びに豚熱等侵入防止対策協議会」に改正。

・現在、企業養豚や関係団体など34会員で構成

2 活動内容

・豚の導入計画調査

年2回、道内養豚場への道外からの豚および精液の導入計画を調査。その際、豚熱やアフリカ豚熱の発生状況や野生動物侵入・誘引防止対策を注意喚起

・家畜衛生情報の養豚場への提供

・広報・研修活動

令和8年3月には、道庁や北海道家畜畜産物衛生指導協会と共催で「令和7年度北海道豚熱等危機管理検討会」を開催

・特別講演

「豚熱の疫学、マーカーワクチン開発、アフリカ豚熱の情報」

北海道大学大学院獣医学研究院微生物学教室 准教授 磯田典和 氏

情報共有・検討事項

1 「岐阜県における豚熱発生とワクチン防疫の実際」

岐阜県中央家畜保健衛生所 保健衛生課 技術主査 桑田桂輔 氏

2 「北海道の防疫体制について」

北海道農政部生産振興局畜産振興課主査（防疫） 榊原 伸 氏

・各地区オーエスキー病侵入防止対策協議会活動

地区協議会の開催（14地区で開催）